

## 各業務：診療情報管理係

### —概要—

2014年1月より1名増員し病院職員6名（診療情報管理士4名・事務員2名）で診療情報管理をとりまく環境変化に対応しながら、次の業務に取り組んだ。

1. SSP(システムシングルピッカー・紙診療録保管システム)運用等、病歴室の業務遂行における調整管理。
2. 診療記録に関する運用等全般の業務。
3. スキャナ業務に関する管理。
4. 入院診療録における量的、質的点検。
5. 府指定大阪府がん診療拠点病院として、「院内がん登録」のデータを毎月大阪府医師会へ提出。
6. DPCの様式1登録業務。
7. Medi-Bank(電子サマリ)及び・傷病名のマスタ管理。
8. 疾病分類(ICD-10に基づく)及び各種統計加工分析。
9. カルテ開示対応。
10. 新任医師及び看護師、医師事務作業補助者への診療録等に関するオリエンテーション。
11. 医師事務作業補助者への業務サポート。
12. 診療情報管理委員会はじめ13の各種委員会の事務局および委員業務。
13. 学会発表。

### —実績—

1. がん登録(全疾患・入・外該当患者)  
がん登録2013年度登録症例数:600件  
(府内581件・府外19件)
2. DPC様式1におけるICD-10コード最終確認により「.9コード」が12%から10.3%へ付与率が1.7%減少した。
3. 傷病名マスタ管理(497件 更新)
4. 各種統計加工分析:113件
5. 診療録開示対応(内容点検)64件
6. 救急医療に係るAISの登録
7. 診療情報管理委員会事務局業務
  - 1)院内保管しているフィルムについて、2007年以降電子カルテにデータが取り込まれているものを整理した。
  - 2)別保管管理倉庫の診療録、フィルムの一部整理をした。
  - 3)診療録管理規程、診療録取扱いマニュアル、診療録入力マニュアルを改訂した。
  - 4)スキャナ削減にむけて取り組んだ。
  - 5)「NO CPR」対象患者について「注意メモ」運用の統一をした。
  - 6)診療録の質的監査をおこなった。
8. 日本診療情報管理学会学術大会に於いて発表。
9. 日本診療情報管理学会65回診療情報管理士生涯教育研修シンポジウムに於いて発表。
10. 2013年度厚生労働科学研究費補助金(政策科学総合研究)「死因統計の精度向上の視点から病院医療の質に資する退院時要約の検討」において研究に参画。